

特別支援学校に通う子どもたち

～富士見高等学校との交流学習を通して～
 富士見特別支援学校 ☎049-253-2820

富士見特別支援学校は、笑顔の素敵な元気な子ども60人が通う特別支援学校です。本校には、主に知的に遅れのある子どもたちが通っています。知的に遅れがある子どもたちと言っても日常生活のことは一人ですらできる子どももいます。食事などで介助が必要な子どもなどその実態はさまざまです。

子どもたちは、実際の生活に即した流れの中で生活経験を通してさまざまなことを学びます。そのために学校では、一人ひとりの子どもの興味関心を把握し、課題を明確にし、授業を計画的に行っています。子どもたちは、「先生や友達と一緒に活動すること」「最後まで頑張る目標を達成すること」などの経験を通して、自らの学び、自ら考え、行動する力を身に付けていきます。

本校では、小・中・高等学校と隣接している教育環境を利用し、交流学習を計画的に年間を通して行っています。交流学習は、ノーマライゼーションの理念に基づき、障がいのある子どもと障がいのない子どもが相互のふれあいを通して、お互いを認め、助け合い、豊かな人間関係を育むことを目的としています。

今年度の第1回目(6月10日)は、富士見高校の生徒が本校に來校し、中学部と交流学習を行いました。第1部は、高校生の「世界に一つだけの花」の合唱で始まり、絵本の読み聞かせと続きました。第2部は、本校の生徒がリードし、自己紹介の後、高校生にお茶を入れてもてなしたり、歌



富士見高校との交流から

人権尊重講演会

「生かされて今、命の輝き」

講師の又野亜希子さんは、交通事故により重度の障がいを負いましたが、家族・友人の支え



を歌ったり、本を読んだり楽しい時間を過ごすことができました。参加した富士見高校の細田さんは「みんな静かに聞いてくれただけでなく、お茶でもてなしてくれました。全部のコップに同じ分量で入れてくれたので、すごいなって思いました。」と多くのことを感じとってくれました。子どもたちは、富士見高校の生徒との交流をとても楽しみにしており、秋には小学部でも予定しています。このように交流学習を通して、本校の子どもたちは、たくさんのお話を学び、経験し、地域で認められ、たくましく育まれていきます。

や子どもを授かったことで絶望の淵から救われ、自由に動かない体で必死に子育てをしています。その姿は、新聞やテレビなどで取り上げられ、多くの反響を呼んでいます。現在は、車いすで子育てをしながら講演・執筆活動などで活躍されています。

講演会では、自らの体験を通して「命の重さ」「愛の力」「絆の大切さ」を分かりやすい語り口でお話しいただきます。子どもから大人まで、多くのみなさんの参加をお待ちしています。とき/8月21日(土) 午後1時30分～3時30分 場所/キラリ☆ふじみ 定員/200人(申込不要) 講師/又野亜希子氏 参加費/無料 主催/富士見市人権教育推進協議会 問合せ/生涯学習課 ☎632 ※託児(3歳～就学前)あります。ご希望の方は8月18日(水)までご連絡ください。

地域の力で子どもの居場所づくりを進めています

問合せ/生涯学習課 ☎633

地域子ども教室推進事業は「地域の力で子どもたちが安心安全に遊べる居場所を作ろう」という趣旨で始めました。現在、市内11小学校全校区で開催されています。活動を企画運営しているのは地域のサポーターのみなさんと、子どもたちに楽しい時間を過ごして欲しい、いろいろな体験をして欲しいという思いから知恵や発想を持ち寄って毎年さまざまな企画や活動を行っています。教室ごとに週1回から月1回程度とさまざまですが、平日の放課後や土曜を中心に活動しています。子どもたちが安心安全に遊べる居場所を作るため、みなさんのご協力をお願いします。

関沢キッズクラブ



中学生と一緒に遊びました

つるせ台ひろば



グラウンドゴルフ初体験

ふじみ野遊びーズ



あみものを教わりました

水谷子ども広場



大人も一緒にベーゴマ大会

グラウンドゴルフ・あみもの・ベーゴマ・大なわ・なわとび・竹うま・お絵かき・はり絵など、たくさんの遊びがあります。子どももお父さんお母さんも地域の方たちも、時には中学生や高校生も一緒になって思いっきり遊んでいます。

かつせらんど



ダンボールで土手すべり

レインボーキッズ針ヶ谷



はり絵で看板づくり

みずほ台わくわくエリア



息を合わせて大なわとび

わくわくクレインキッズ



竹を使って水鉄砲づくり

東っ子くらぶ



図書室でお絵かき

すわっこくらぶ



みんなでなわとび

南畑あそび隊



竹うま練習中